

平成31年度 調布市立第五中学校 国語 第3学年 年間指導計画・評価計画

- 1 教科目標 国語の表現と理解の能力を高め、言語感覚を磨き、思考力・想像力を豊かにする。
- 2 評価の観点及びその趣旨
 - ① 国語への関心・意欲・態度・・・国語への関心を高め、国語を尊重し、理解・表現に努め、自ら進んでコミュニケーションに励む。
 - ② 話す・聞く能力・・・目的に応じて社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話し、表現の工夫を評価して聞くことができる。
 - ③ 書く能力・・・論理の展開を工夫し資料を適切に引用するなどして説得力のある文章を書くことができる。
 - ④ 読む能力・・・文章の論理の展開、登場人物の設定の仕方をとらえ内容の理解に役立てることができる。知識を広げ自分の考えを深めたりすることができる。
 - ⑤ 伝統的な言語文化と国語の特質に対する理解・・・古典や文法、言葉の知識に対する理解を深め、言語感覚を磨く。
- 3 学年の目標 社会生活に役立つ能力を身につけ、言葉に関する知識を幅広く習得して、ものの見方や考え方を深める。
- 4 指導計画・評価計画表

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|----|--|---|---|--|
| | 1 深まる学びへ | | | |
| 4月 | 春に ◎文脈の中における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。(読(1)ア) ◎詩に込められた作者の人間や自然に対する思いを捉え、自分の意見をもつ。(読(1)エ) | 3 | 1 作品を通読し、特徴的な言葉や表現の工夫などについて気づいたことを話し合う。 ・繰り返し使われる言葉や比喩表現などを抜き出し、気づいたことを述べ合う。 2 詩に込められた作者の人間や自然に対する思いを読み取り、その思いを自分と照らし合わせて考え、自分の意見をもつ。 ・4回繰り返しされる「この気持ち」の内容を考える。 3 表現の特徴を踏まえて、自分の思いを込めて朗読する。 4 学習を振り返る。 | 【関】表現の特徴や作者の思いを捉え、自分の考えをもとうとしている。 【読】印象に残る表現を抜き出し、その効果や工夫について考えている。 ・詩の中の「この気持ち」の内容を捉え、それについての自分の意見をもっている。 【言】反復や比喩などの表現に注意して読んでいる。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |
| 4月 | 握手 4時間 ◎作品中の表現や、登場人物の置かれた状況、言動に着目して、人物像を捉える。(読(1)ア・ウ) ◎登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について自分の意見を持ち、作品を批評する。(読(1)イ・エ) | 5 | 1 作品を通読し、人物どうしの関係や置かれた状況を確認する。(学習1) 2 会話文の言葉やエピソードに着目して、登場人物の人物像や心情を捉える。(学習2) 3 作品のよさや特徴について、自分の考えを書く。(学習3) 4 学習を振り返る。 漢p30「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。 | 【関】作品を読み、そのよさや特徴について、自分の考えを深めようとしている。 【読】作品の表現に即して、人物像を読み取っている。 ・作品の表現や構成、内容について、自分なりに観点を決めて批評している。 【言】作品に使われている言葉の意味を調べたり、比喩表現に着目したりして、作品を読み深めている。 【言】問題に取り組む、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |
| 4月 | 季節のしおり 春 | | ・春の季語や、春の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 | |
| 4月 | 学びて時にこれを習ふ —「論語」から ◎漢文の言い回しに注意して、文脈における語句の意味を捉えて読み、人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちの生活と関連づけて考える。(読(1)ア・エ) ○「論語」の古典における位置づけを知り、「論語」に親しむ。(伝国(1)ア) | 3 | 1 p32の文章などを参考に、「論語」という作品について知る。 2 「論語」の教材作品を読み、孔子のものの見方や考え方を読み取る。 ・教材の書き下し文を、漢文の言い回しに注意して、繰り返し音読する。 ・脚注や出典を参考にして孔子のものの見方や考え方を読み取り、自分たちの生活に当てはめて考える。 ・自分たちの考えをグループで交流する。 3 学習を振り返る。 | 【関】「論語」を読み、孔子の考え方を自分たちの生活と関連づけて考えようとしている。 【読】脚注を参考に語句の意味を捉えて、漢文の言い回しに注意して読み、孔子の考え方に対する自分の考えをもっている。 【言】「論語」の古典における位置づけを理解し、内容に親しんでいる。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|----|---|---|---|--|
| 5月 | 練習 評価しながら聞く ◎自分の考えと比較し評価しながら相手の考えを聞き、自分のもの見方や考え方、表現のしかたに役立てる。(話聞(1)ウ) | 2 | 1 教材文「ペットの飼育」について話し合っている様子を、自分の考えと比較し評価しながら聞く。 2 議題を決めて話し合い、評価しながら聞く練習をする。 | 【関】 相手の考えを自分の考えと比べながら聞き取り、自分の表現に役立てようとしている。 【話聞】 メモを取り、自分と相手の考えを比較し評価しながら整理している。 【言】 言葉の意味や使われ方に注意して聞いている。 【評価資料】 作品など |
| 5月 | 社会との関わりを伝えよう 相手や目的に応じたスピーチをする ◎自分の体験や知識を整理して、話す内容を決める。(話聞(1)ア) ◎話す相手や目的を意識して、資料を活用したり、話し方を工夫したりする。(話聞(1)イ・ウ) | 5 | 1 スピーチの話題を考える。 2 スピーチの相手と目的を考える。 3 スピーチの内容と構成を考える。 4 スピーチをする。 5 スピーチを振り返って話し合う。 6 学習を振り返る。 | 【関】 話題に沿って相手にわかりやすく話をしようとしている。 【話聞】 ・自分の体験や知識を基にスピーチの話題を決めている。 ・場面や目的、相手に合った話し方をしている。 【言】 声の調子や敬語の使い方に注意して話している。 【評価資料】 スピーチなど |
| 5月 | 漢字 1 熟語の読み方 ◎熟語に関する知識を広げ、文や文章の中で読んだり使ったりする。(伝国(1)イ(イ)、ウ(ウ)(イ)) | 2 | 1 教材文の導入の例から、漢字二字の熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを知る。 2 教材文を読み、さまざまな熟語の読み方について理解する。 3 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。 | 【関】 熟語の読み方を理解しようとしている。 【言】 熟語の成り立ちや、音読み・訓読みを確かめながら読み、示された熟語以外の例を挙げ、理解を深めている。 【評価資料】 定期テストなど |

| 2 視野を広げて | | | | |
|----------|---|---|--|--|
| 6月 | 月の起源を探る ◎語句の使い方や説明の順序、図の使い方に着目して、内容を捉える。(読(1)ア・イ) ◎筆者の科学的なもの見方や考え方について、自分の考えをもち評価する。(読(1)ウ) ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ウ)(イ)) | 5 | 1 全文を通読し、文章と図の対応について確認する。(学習1) 2 説明の順序やまとまりの役割を考え、文章全体の構成を捉える。(学習2) 3 科学的なもの見方や文章の構成や表現について、自分の考えをもち、話し合う。(学習3) 4 学習を振り返る。 漢p52「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。 | 【関】 進んで文章を読み、論理の展開や内容を理解しようとしている。 【読】 ・図と本文との対応を確かめながら読み、内容を捉えている。 ・筆者のもの見方や文章の構成や表現について、自分の考えをもっている。 【言】 論理展開を支える漢語の意味と効果を理解している。 【言】 問題に取り組む、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| 6月 | 練習 文章の形態を選んで書く ◎文章の形態の特徴を知り、それぞれの形態の特徴を踏まえた表現の工夫をする。(書(1)ア) | 1 | 1 教材文「体育祭での出来事を、さまざまな形態で表現した例」を参考に、それぞれの形態の特徴について知る。 2 文章の形態の特徴に注意して文章を書く。 | 【関】 日常を振り返り、進んで文章を書こうとしている。 【書】 文章の形態の特徴を踏まえた表現の工夫をしている。 【言】 選んだ文章形態に合った語句や表現を意識して使っている。 【評価資料】 定期テストなど |
| 6月 | 魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集する ◎内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。(書(1)ア・イ) ◎書いた文章を読み返し、文章構成や表現、紙面の体裁を整える。(書(1)ウ) | 3 | 1 取材メモを作る。 2 編集会議を開く。 3 紙面構成を考えて下書きをする。 4 下書きを読んで助言し合い、清書する。 5 冊子にまとめ、読み合う。 6 学習を振り返る。 | 【関】 自分が書く文章に合った形態を選び、進んで文章を書こうとしている。 【書】 ・内容に合った文章の形態を選び、素材の配置など、紙面構成を工夫している。 ・文章を読み返し、形態に合った文章構成や効果的な表現になるよう、紙面の体裁を整えている。 【言】 選んだ文章形態に合った語句や表現を意識して使っている。 【評価資料】 ワークシートなど |

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|----|---|---|---|---|
| 6月 | 「想いのリレー」に加わろう 「情報発信」について考えよう ◎語句の使い方に気をつけながら現代のメディアの特徴を読み取り、情報発信の意義と注意点について考えを深める。 (読(1)ア・エ・オ) | 2 | 1 全文を通読し、さまざまなメディアの特徴を考える。 2 クラスでできる「情報発信」について話し合う。 3 学習を振り返る。 | 【関】 文章を読んで、社会や人間について自分の考えをもとうとしている。 【読】 現代メディアの特徴や情報発信の意義と注意点を読み取り、自分の日常生活と結びつけて考えようとしている。 【言】 外来語の使われ方に注意して読んでいる。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| 6月 | 言葉 1 和語・漢語・外来語 ◎和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(伝国(1)イ(イ)) | 1 | 1 教材文の導入の例を基に、和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考える。 2 和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。 | 【関】 和語・漢語・外来語の使い分けを理解しようとしている。 【言】 和語・漢語・外来語のそれぞれを理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。 【評価資料】 定期テストなど |

| 3 言葉を見つめる | | | | |
|-----------|---|---|--|--|
| 7月 | 俳句の可能性 俳句を味わう ◎筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。(読(1)ア・ウ) ◎感動の中心が効果的に伝わるように、語句や語順に注意して俳句を作る。(書(1)ア) | 4 | 1 全文を通読し、俳句の特色などを知るとともに、五句それぞれに込められた心情や情景を想像する。 2 p70「俳句を味わう」に紹介されている俳句について、それぞれの俳句に表現されている心情や情景などを捉え、朗読する。 3 俳句を作る。 4 学習を振り返る。 | 【関】 俳句の形式に興味をもち、表現上の特徴を生かして俳句を作ろうとしている。 【読】 俳句の約束事を理解し、俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。 【書】 語順や表現のしかたに注意して、自分の思いや感動を俳句に表現している。 【言】 語句の効果的な使い方に注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| 7月 | 言葉を選ぼう ◎時間の経過によって変化した言葉や世代によって使われ方が違う言葉を見つけ、その違いを理解するとともに、調べた内容について相手にわかりやすい説明になるように構成を工夫して書く。(書(1)ア) (伝国(1)イ(ア)) | 1 | 1 教材文を通読し、言葉の性質について知る。 2 日常生活の中で、世代間で意味や使い方が異なる言葉や限られた世代だけが使っていると思われる言葉を探す。 3 探した言葉について、短作文を書く。 4 学習を振り返る。 | 【関】 言葉の性質について理解を深めようとしている。 【書】 日常の言語生活を振り返り、調べた内容をわかりやすく説明する工夫をしている。 【言】 時代による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解している。 【評価資料】 ワークシートなど |
| 7月 | 「批評」の言葉をつめる ◎文脈における語句の意味に気をつけながら「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 (読(1)ア・エ) | 2 | 1 全文を通読し、筆者の考えを読み取る。(学習1) 2 筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。(学習2) 3 学習を振り返る。 | 【関】 進んで文章を読み、内容を理解しようとしている。 【読】 文脈における語句の意味に注意して読み、筆者の考えを捉え自分の考えを深めている。 【言】 抽象的な言葉の意味を捉えている。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| 7月 | 文法への扉 1 すいかは幾つ必要？ ◎文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かす。(2年伝国(1)イ(ウ)(エ)) | 1 | 1 教材文を読み、文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。 2 p218文法1「文法を生かす」を読み、文節・連文節の係り受けなどの既習の文法について理解を深め、文法の知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。 | 【関】 既習の文法知識を振り返って話し合おうとしている。 【言】 文法的な観点から誤解の生じた原因を理解している。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| | 読書生活を豊かに | | | |

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|----|--|---|--|---|
| 7月 | 高瀬舟 未来の私にお薦めの本 読書案内 読書コラム ためになるってどんなこと？ ◎目的をもって本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定などを捉えて、自分の考えを広げたり深めたりする。(読(1)ア・イ・エ・オ) | 2 | 1 読書教材「高瀬舟」を読み、近代文学の表現を味わったり、感想を交流したりする。 2 「未来の私にお薦めの本」を読み、自分の読書生活を振り返り、今までの読書傾向を分析する。 3 分析結果を参考に、これから読んでみたい分野や作家を読書ワークシートに書き出す。 4 学習を振り返る。 | 【関】自分の読書生活に関心をもち、読書について話し合ったり、読書の幅を広げたりしようとしている。 【読】表現や場面・人物設定などに着目して読み、自分のものの見方や考え方を広げるとともに、読書生活について考えている。 【言】難しい語句や表現について理解しながら読んでいる。 【評価資料】ワークシートなど |
| 7月 | 季節のしおり 夏 | | ・夏の季語や、夏の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 | |

| 4 状況の中で | | | | |
|---------|--|---|---|---|
| 9月 | 挨拶—原爆の写真によせて ◎比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。(読(1)ア・ウ) ◎詩に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深める。(読(1)エ) | 2 | 1 作品を通読し、リズムや表現の工夫などについて気づいたことを話し合う。(学習1) 2 語句や表現に込められた意味を読み取る。(学習2) 3 作者のものの見方や考え方について、自分の意見を持ち、発表し合う。(学習3) 4 学習を振り返る。 | 【関】作品を読み、作者のものの見方や考え方について自分なりに考えようとしている。 【読】・比喩や象徴的な表現に着目し、作者の思いを読み取っている。 ・作品に込められた思いを、詩の世界と現実の世界の在り方を重ね合わせながら考え、自分の言葉で説明している。 【言】詩の一語一語を注意して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【評価資料】ワークシートなど |
| 9月 | 故郷 ◎表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。(読(1)ア・イ・ウ) ◎時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えをもつ。(読(1)エ) ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(4)) | 6 | 1 作品を通読し、場面設定や登場人物の人物像、人間関係を確認する。(学習1) 2 場面や登場人物の設定に着目し、登場人物の心情や関係の変化を読み取る。(学習2) 3 作品から、時代や社会の変化の中での人と人との関わりについて考え、自分の意見をもつ。(学習3) 4 学習を振り返る。 漢p122「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。 | 【関】作品を読み、人と人との関わりについて考えようとしている。 【読】・場面や登場人物の設定を表す語句や表現に着目し、登場人物の心情を読み取っている。 ・時代や社会の変化の中での人と人との関わりについて、自分の考えをもっている。 【言】作品中の漢語表現に注意して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【言】問題に取り組む、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |
| 9月 | 練習 推敲して文章を整える ◎書いた文章を読み返し、文章全体を整える。(書(1)ウ) | 1 | 1 これまでの学習を振り返り、推敲することの意義を確認する。 2 課題文を推敲し、読みやすくわかりやすい文章にする観点を押さえる。 | 【関】文章を推敲してよりよいものにしようとしている。 【書】示された観点到に沿って文章を見直し、文章全体を整えている。 【言】漢字や語句を正しく使っている。 【評価資料】ワークシートなど |

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|-----|---|---|---|---|
| 10月 | 新聞の社説を比較して読もう ◎社説を読み、主張や論理の展開、表現のしかたを捉える。(読(1)イ) ◎一つの話題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。(読(1)ウ) ○構成や論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して意見を主張する文章を書く。(書(1)ア・イ) | 3 | 1 社説を読み、話題を確かめる。(学習1) 2 二つの社説を読み比べて、内容や表現を整理し、主張や論理の展開のしかたを評価する。(学習2) 3 論理の展開を工夫して意見文を書く。 4 学習を振り返る。 | 【関】 二つの社説を読み、主張や論理の展開の違いに目を向けようとしている。 【読】 構成や展開、表現のしかたなど観点に沿ってまとめている。 ・内容の違いを読み比べ、主張や構成について評価し、自らのものの見方や考え方を広げている。 【書】 社説をもとにテーマを決め、構成や引用する資料を工夫して意見文を書いている。 【言】 新聞で用いられる言葉の特徴を捉えている。 【評価資料】 作品など |
| 10月 | 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 ◎慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。(伝国(1)イ(イ)) | 1 | 1 導入の例から、一まとまりで決まった意味をもつ言葉に興味をもつ。 2 教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。 | 【関】 慣用句・ことわざ・故事成語について理解しようとしている。 【言】 慣用句・ことわざ・故事成語を調べ、知識の幅を広げている。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| 10月 | 漢字2 漢字の造語力 ◎漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(ア)(イ)) | 1 | 1 導入の文章を読み、新しい日本語が考え出された経緯を知る。 2 教材文を読み、漢字の造語力について知る。 3 練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。 | 【関】 漢字を組み合わせてできる造語に興味をもとうとしている。 【言】 漢字の造語力について理解している。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| | 季節のしおり 秋 | | ・秋の季語や、秋の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 | |

| | | | | |
|-----|--|---|--|--|
| | 5 いにしえの心と語らう | | | |
| 10月 | 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 ◎比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集 仮名序」の冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。(読(1)ア)(伝国(1)ア(ア)) | 2 | 1 「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を音読する。 | 【関】 「仮名序」冒頭部分の内容に興味をもち、進んで音読しようとしている。 【読】 古人が「和歌」をどのようなワークシートして捉えていたかを理解している。 【言】 古文のリズムを意識しながら音読している。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| 10月 | 君待つと 一万葉・古今・新古今 ◎効果的な表現や語句の使い方に着目して、それぞれの和歌を読み味わう。(読(1)ア・ウ) ◎歴史的な背景に注意して古典の和歌を読み、昔の人の心情や情景を読み味わうとともに、和歌に歌われている人間や自然などについて、自分の考えをもつ。(読(1)エ)(伝国(1)ア(ア)) | 3 | 1 和歌を声に出して読み、言葉の響きやリズムを楽しむ。(学習1) 2 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の歌を比較し、和歌に表れた作者の心情や情景を想像して、感じたことを話し合う。(学習2) 3 心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。(学習3) 4 学習を振り返る。 | 【関】 それぞれの和歌集に興味をもち、和歌に表れた古人の心情や情景について現代語訳を基に想像しようとしている。 【読】 ・和歌の表現技法や語句の使い方に気づいて読み、感想をもっている。 ・脚注を参考にしながら古人の心情や情景を読み取り、和歌に対して自分の考えをもっている。 【言】 現代語訳や脚注、出典欄などを基に、歴史的な背景に注意して和歌を読んでいる。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|-----|---|---|---|---|
| 10月 | 夏草 —「おくのほそ道」から ◎古典の文章を、表現のしかたや文体の特徴に着目して読み味わう。(読(1)ア・ウ) ◎歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。(読(1)エ)(伝国(1)ア(7)) ○古典の文章の中から自分の心に響いた言葉を引用し、文章の形態を工夫してメッセージを書き、読み合う。(書(1)ア・イ・エ)(伝国(1)ア(1)) | 5 | 1 地の文と俳句の組み合わせによる構成の効果を踏まえ、芭蕉の思いを想像しながら、全文を声に出して読む。(学習1) 2 全文を読み、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。(学習2) 3 本文中の四つの俳句から、自分の心に響く俳句を一句選び、その理由などについて述べる。(学習3) 4 古典の言葉を選び、贈る相手と目的、文章の形態を選択してメッセージを書く。 5 学習を振り返る。 | 【関】 俳句に込められた芭蕉の思いを考えようとしている。 【読】 作品の表現のしかたや文体の特徴に着目しながら読んでいる。 ・芭蕉の感じたことを踏まえながら、選んだ俳句が心に響いた理由を述べている。 【書】 ・メッセージにふさわしい文章の形態を選択し、相手を意識した文章を書いている。 ・友達メッセージを読み、観点にそって評価している。 【言】 歴史的背景を踏まえながら作品を読んだり、古典の一節を引用した文章を書いたりして、古典の世界に親しんでいる。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| 10月 | 古典を心の中に ◎古典作品について書かれた文章を読み、自分の考えを深め、古典の世界に親しむ。(読(1)エ・オ)(伝国(1)ア(7)) | 2 | 1 本文を通読する。 | 【関】 古典のさまざまな作品に関心をもとうとしている。 【読】 古典には人の姿やさまざまな世界が描かれていることを理解している。 【言】 古典の知識に触れ、その世界に親しんでいる。 |

| 6 論旨を捉えて | | | | |
|----------|---|---|--|--|
| 11月 | 作られた「物語」を超えて ◎筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価する。(読(1)ア・イ・ウ) ◎筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。(読(1)エ) ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(7)(1)) | 5 | 1 本文を通読し、興味をもったことを挙げ、筆者がゴリラの事例を挙げた意図を確かめる。(学習1) 2 ゴリラの事例を通して語られる人間一般の性質を捉える。(学習2) 3 これから出会っていく「新しい世界」について自分の考えをもち、話し合う。(学習3) 4 学習を振り返る。 漢 p165「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。 | 【関】 教材文に興味をもち、自分の考えを広げようとしている。 【読】 ・語句や論理の展開、表現のしかたなどについて自分なりに評価している。 ・読み取ったことを踏まえ、これからの「新しい世界」について自分の考えをもっている。 【言】 比喩的に用いられている言葉の意味に気づいている。 【言】 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。 【評価資料】 ワークシート・定期テストなど |
| 11月 | 練習 話し合いを効果的に進める ◎話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。(話聞(1)エ) | 1 | 1 「卒業文集のテーマの設定」の話し合いの例を聞き、参加者として話し合いの進め方について提案する。 | 【関】 話し合いの進め方などについて考えようとしている。 【話聞】 話し合いが効果的に展開するように、論点を整理するなどして進行を工夫している。 【言】 話し合いに適した言葉遣いを意識して発言している。 【評価資料】 ワークシートなど |

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|-----|--|---|---|---|
| 11月 | 話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く ◎社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をし、自分のものの見方や考え方を深める。(話聞(1)ア・ウ) ◎話し合いが効果的に展開するように進进行を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。(話聞(1)エ) | 5 | 1 課題を見つける。 2 グループで具体的な提案を考える。 3 全体会議を開く。 4 話し合いを振り返る。 5 学習を振り返る。 | 【関】自分が取り組みたい課題を考えようとしている。 【話聞】・社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案し、話し合いを通して自分のものの見方や考え方を深めている。 ・観点に沿って論点を整理し、長所を生かしてよりよい結論になるように話し合いを進行している。 【言】話し合いという場を意識し、適切な言葉遣いをしている。 【評価資料】ワークシートなど |
| 12月 | 練習 観点を立てて分析する ◎社会生活の中から課題を決め、観点を立てて分析し考えを深める。(書(1)ア) | 1 | 1 広告例を表に沿って分析し、友達と比べる。 2 挙げられている例を評価する場合の観点を考える。 | 【関】進んで課題に取り組み、観点を立てて分析しようとしている。 【書】挙げられた例を観点を立てて分析することで、課題について論じたり評価したりしている。 【言】批評するときの言葉を使っている。 【評価資料】ワークシートなど |
| 12月 | 説得力のある文章を書こう 批評文を書く ◎社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。(書(1)ア) ◎論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書き、書いた文章を読み合ってももの見方を深める。(書(1)イ・エ) | 5 | 1 批評文について知る。 2 関心のある事柄を選ぶ。 3 観点を立てて分析する。 4 論理の展開を考える。 5 下書きをして文章にまとめる。 6 文章を読み合い、考えを深める。 7 学習を振り返る。 | 【関】社会生活の中の事柄について、自分の意見を明確にして批評文を書こうとしている。 【書】・分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書いている。 ・友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てている。 【言】自分の意見を効果的に表現するために、批評するときの言葉を適切に使い分けられている。 【評価資料】作品など |
| 12月 | 初恋 ◎詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。(読(1)ア・エ) | 2 | 1 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 2 語句や表現に込められた意味を読み取る。 3 自分の意見を持ち、発表し合う。 | 【関】進んで朗読し、詩の世界を味わおうとしている。 【読】表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、自分の状況と照らし合わせながら説明している。 【言】文語特有の表現を味わい、語感を磨いている。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |
| 12月 | 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ ◎2年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 (1年伝国(1)イ(エ))(2年伝国(1)イ(ウ)(エ)) | 2 | 1 教材文を読み、文法的な観点から言葉について考察することの意義を確認する。 2 p221文法2「文法のまとめ」の問題に取り組む。 | 【関】三年間の文法学習を振り返り、苦手な箇所を克服しようとしている。 【言】文節の区切りや品詞の違いについて理解している。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|---|------------------|---|------|------|
|---|------------------|---|------|------|

| | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| | 読書に親しむ | | | |
| 12月 | エルサルバドルの少女 ヘースス 読書コラム 読書記録をつける 読書案内 ◎目的をもって本を読み、人間・社会・自然などについての知識を広げ、自分の考えを深める。(読(1)エ・オ) | 1 | 1 読書教材「エルサルバドルの少女 ヘースス」を読み、ヘーススの生き方や考え、筆者の写真や取材のしかたについて、心引かれる部分話し合う。 2 読書コラム「読書記録をつける」を読み、読書を記録することについて考える。 3 教科書の読書案内を参考にしながら、これから読んでみたい分野や作家を挙げさせる。 | 【関】自分の読書生活に関心を持ち、読書について話し合ったり本の幅を広げたりしようとしている。 【読】ヘーススの生き方などに着目して読み、人間の生き方や社会の在り方について考えている。 【言】比喩など、特徴的な表現に着目し、語感を磨いている。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |
| 12月 | 季節のしおり 冬 | | ・冬の季語や、冬の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。 ◇授業の導入や、p139「君待つと」、p146「夏草」などの資料として用いてもよい。 | |
| | 7 未来へ向かって | | | |
| 1月 | 誰かの代わりに ◎現代社会の可能性や困難、自分の生き方について考え、意見をもつ。(読(1)エ) ◎文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開のしかたを捉え、内容の理解に役立てる。(読(1)ア・イ) | 5 | 1 全文を通読する。 2 抽象的な語句に着目して読みを深める。 3 論理の展開を押さえる。 4 現代社会や生き方に対する自分の考えをもち、話し合う。 5 学習を振り返る。 | 【関】現代社会の特徴を知り、可能性や困難、自分の生き方について考えようとしている。 【読】筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 ・抽象的な語句や論理の展開のしかたを捉え、内容を理解している。 【言】文章中の抽象的な語句に興味をもち、意味や類義語などを調べている。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |
| 2月 | わたしを束ねないで ◎詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもつ。(読(1)ア・エ) | 3 | 1 詩を通読し、特徴的な言葉や表現の工夫などについて気づいたことを話し合う。 2 詩に込められた作者の思いを読み取り、その思いを自分と照らし合わせて考え、自分の意見をもつ。 3 これからの自分の可能性について考えをまとめ、グループで交流する。 4 学習を振り返る。 | 【関】表現の特徴や作者の思いを捉え、自分の考えをもとうとしている。 【読】詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもっている。 【言】語感を磨き語彙を豊かにしている。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |
| 2月 | 漢字3 漢字のまとめ ◎2年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のたいたいを読み、適切に使われる。(伝国(1)ウ(7)(1)) | 1 | 1 練習問題に取り組む。 | 【関】問題に取り組み、漢字への理解を深めようとしている。 【言】漢字の読み方や意味を確かめながら問題に取り組み、おおむね理解している。 【評価資料】ワークシート・定期テストなど |
| 3月 | 三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う ◎三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。(書(1)ア・イ・エ) ◎自分の経験や知識を整理して話し、発表内容や書いた作品を評価し合っもの見方や考え方を深める。(話聞(1)ア・ウ) | 1 | 1 三年間の学習を振り返る。 | 【関】中学校三年間の学習を振り返り、自分の学びを冊子にまとめようとしている。 【書】三年間の国語の学習から取材して伝えたいことを決め、冊子の構成を工夫している。 【評価資料】作品など |

| 月 | 教材名・時数・指導目標・言語活動 | 時 | 学習活動 | 評価規準 |
|---|------------------|---|------|------|
|---|------------------|---|------|------|

| 1. 目的に応じて効果的に書こう。 | | | | |
|--------------------|---|---|---|---|
| 6月 | 文字を効果的に使うために ◎目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解することができる。 | 2 | <ol style="list-style-type: none"> 教科書に掲載された誌面を見て、ゴシック体・明朝体・手書き文字の特徴と、それぞれから受ける印象をまとめ、話し合う。 活字にもさまざまな書体があることを理解する。 「学習の窓」を見て、ゴシック体・明朝体・手書き文字の特徴と、それをを使うことによる効果を確かめる。 | <p>【知】 目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。</p> <p>【技】 明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それをを使うことによる効果を理解した上で、目的に応じて効果的に文字を書いている。</p> <p>【評価資料】 作品など</p> |
| 7月 | [コラム]デザインと文字 ◎身の回りの多様な文字に関心をもち、目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解する。 | 2 | <ol style="list-style-type: none"> 「デザインと文字」を読んで、デザイナーが文字を選ぶときの基準や、文字に対する考え方を理解する。 さまざまな文字を使ってデザインされた装丁を比較し、その文字を使うことによる効果や受ける印象について話し合う。 「広告と文字」を見て、身の回りにある文字文化に関心をもちとともに、伝えようとする内容や目的と、その文字を使ったことによる効果を話し合う。 | <p>【関】 本の装丁や広告など、身の回りの文字文化に興味をもち、その文字を使うことによる効果を考えている。</p> <p>【技】 さまざまな文字や筆記具の特徴と、それをを使うことによる効果を理解した上で、目的に応じて効果的に文字を書いている。</p> <p>【評価資料】 作品など</p> |
| 2. 学習したことを生かして書こう。 | | | | |
| 12月 | 三年間のまとめ ◎三年間で学習したことを確かめることができる。 | 5 | <ol style="list-style-type: none"> 北多摩書写展に出品するために、今までの技能を生かして練習する。 | <p>【知】 課題に取り組み、三年間で学習したことを確かめている。</p> <p>【評価資料】 作品など</p> |